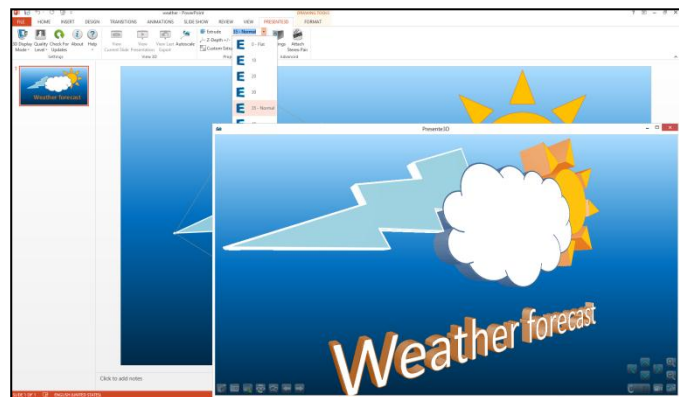
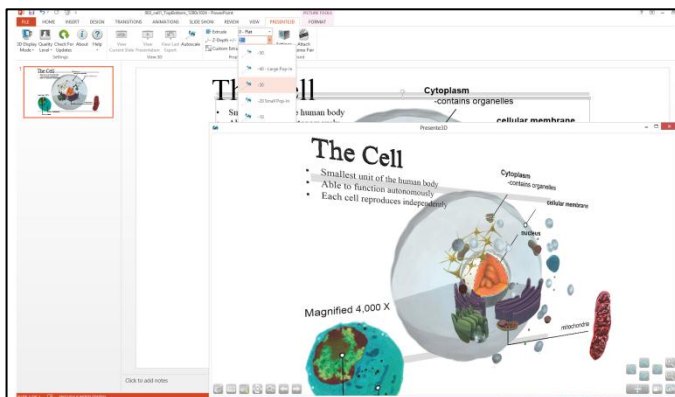


3Dプレゼンテーションソフトウェア PRESENTE3D



Presente3Dは、今お使いのMicrosoft PowerPoint 2007/2010/2013で作成したプレゼンテーションを迅速かつ簡単に3Dプレゼンテーションにすることができます。Microsoft PowerPointのリボンバーにシームレスに統合されるアドインソフトウェアなので、新たな使い方の習得は不要です。



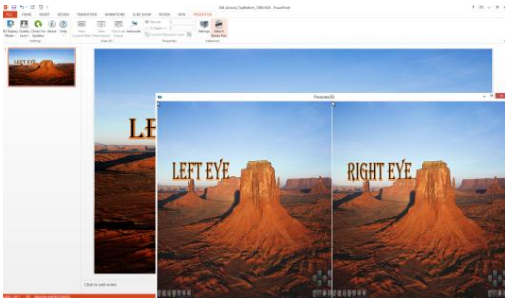


■3Dの知識は不要

PowerPointを使用することで、オブジェクトを選択し、立体感を設定するだけで3D知識の少ない方でも3Dコンテンツが簡単に作成できます。

■すべての3DTVと3Dプロジェクターをサポート

市販されている各種3DTV(シャッター方式、偏向方式、裸眼方式など)、3Dモニター、3Dプロジェクターが使用でき、トップアンドボトム、サイドバイサイド、フレームシーケンシャル、及びアナグリフ方式では3D対応のハードウェアなしで3Dコンテンツを作成し表示できます。



■Microsoft PowerPointでステレオイメージをサポート

Presente3Dは、説得力のあるスライドが作成できるように、3D PowerPointのプレゼンテーションにステレオ画像のインポートが直接可能です。

動作環境

OS:Windows XP/Vista/7

Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013

CPU:MEM 1GB以上、Video Memory 256MB(min.)

■3D表示対応モード

シングル、サイドバイサイド(Half)、トップアンドボトム(Half)、フレームシーケンシャル(120Hz)、アナグリフ(赤青)、Dimenco(裸眼)、インターリーブ、Tridality(裸眼)

Presente3Dは、通常のコンピューターで動作するように開発されており、3DTVや3D対応プロジェクターにサイドバイサイド、トップアンドボトムの3Dを表示するために特別なハードウェアは必要ありません。サイドバイサイド、トップアンドボトム3Dをサポートしていない3D DLPプロジェクターなどを使用する場合は、Nvidia社のQuadroグラフィックカードを搭載したPCが必要です。3Dディスプレイがない場合でも、アナグリフ表示によりアナグリフ(赤青)メガネで3D立体視ができます。

開発元: Presente3D, LLC/Toms River, NJ, USA.

お問合せ(日本総販売元)

マネッジ・オンライン株式会社 営業部 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町15-4

TEL:03-6696-4198 FAX:03-6661-9484

パレドール日本橋II 703

E-mil: sales@monline.co.jp

URL: http://www.monline.co.jp